

モロモロスポーツ第2版

年度代表馬決定！

マックロクディが日本を制す！！

2007年度の年度代表馬投票結果が発表された。これら各賞の発表が池袋モロモロ本社で行われた。結果は以下の通り。

	馬名	投票数
年度代表馬	マックロクディ	85
次点	マチマチマッチ	3

	馬名	投票数
最優秀短距離馬	該当馬なし	88
次点		0

	馬名	投票数
最優秀牡馬	マックロクディ	87
次点	フタツキラキラボシ	1

	馬名	投票数
最優秀中距離馬	マックロクディ	53
次点	タクママックス	22

	馬名	投票数
最優秀牝馬	マチマチマッチ	87
次点	セイケイアイドル	1

	馬名	投票数
最優秀長距離馬	セイケイテイオー	55
次点	フタツキラキラボシ	30

	馬名	投票数
最優秀新馬	ラブラブエリカ	75
次点	ワカナオサカナオー	12

	馬名	投票数
特別表彰馬	フタツキラキラボシ	-

有効投票数 88票

大方の予想通り、唯一ベストを更新し、またモロモロ記念を制した外国産馬マックロクディが年度代表馬に選出された。

マックロクディのクドゥ騎手は「ワタシノウマガイチバンネ。ウレシイ。」と喜びを語った。また、最優秀牡馬、最優秀

中距離馬にも輝いた。「イチドニミツモトレルナンテユメミタイヨ。トモハッピーネ。2008モガンバルヨ」というクドゥ騎手。

抛点を静岡へ変えて、更なる飛躍を図る。



喜びの表情のクドゥ騎手

各表彰馬の騎手のコメントは以下の通り。

最優秀牝馬のマチマチマッチの河野騎手

今期タイムが評価され受賞

私が選ばれて光栄だわ。今年はマラソンで北京狙うわよ！

最優秀新馬のラブラブエリカの佐々木騎手

インカレ9位、モロモロ800mランク歴代2位

エリカ様が落ち目で不安はありましたが、表彰されてよかった。古馬になっても頑張ります

最優秀長距離馬のセイケイテイオー柿沼騎手

荒川マラソン優勝、対校駅伝区間新が評価され受賞

今年はトラックを狙う。モロモロエースは俺だ！！

特別表彰馬のフタツキラキラボシの二木騎手

モロモロ大賞典優勝で特別賞受賞

自分がもらえるとは思っていなかった。素直にうれしい。皆さんのおかげです。

上柚木の空に二つ星！完勝フタツキラキラボシ！

二つ星誕生 第一回モロモロ大賞典(G)が11月17日、上柚木競技場で開催され、新潟生まれのフタツキラキラボシが今期ベストとなる16分10秒で快勝した。

人気薄 フタツキラキラボシの二木騎手は、「人気がなかったので気楽に乗れた。ハンデに恵まれた感もあるが、素直にうれしい。」優勝した騎手の言葉としてはやや控えめである。

名言 そうは言うものの、二木騎手はレース前のインタビューで「一番人気は知らない。一着が欲しい。」と語った。インタビュー通りの結果に会場が沸く。自信がなければ言えないセリフではないだろうか。キラキラボシの秋の充実を物語る。

神も黒船も 神様ゴッドインバクト、黒船マックロクディを破ったキラキラボシだがもっと大きな目標がある。「まだ女帝を倒していませんから」同じ厩舎の先輩であるマチマチマッチだ。奇しくも今回のタイムは今期のマチマチマッチよりも若干遅い。「必ず超える。その舞台は整いました」と意気込む二木騎手は頼もしさ抜群だった。今後の激走に期待したい。



内国産の意地を見せたフタツキラキラボシ。(撮影・伴卓磨)

上柚木第11R 第一回モロモロ大賞典(G) トラック 5000m 8頭 良

アラカルト	着順	馬名	性齢	ハンデ	騎手	タイム	着差	オッズ	人気	票数
⑦フタツキラキラボシ	1	フタツキラキラボシ	牡23	60秒	二木	15分10秒		41.2		230
騎手 二木	2	タマタマクロス	牡23	80秒	玉井	15分24秒	1 1/2	132		119
父 ツジ ジョン	3	ゴッドインバクト	牡27	50秒	岩田	15分27秒	1/4	2.8		897
母 ヘロヤマ ハロミ	4	タクママックス	牡25	0秒	伴(卓)	15分32秒	1/2	38.6		249
牡23	5	イワサタイヤオー	牡26	45秒	岩佐	15分51秒	2	11.2		486
生産者 メイガク牧場	6	ユーキキングオー	牡23	150秒	伴(友)	15分52秒	クビ	7.1		513
戦績 1500m4'07"	7	マックロクディ	牡25	15秒	クドウ	15分52秒	ハナ	4.7		674
モロモロ大賞典(G)	8	ヌマッタプリンセス	牡23	150秒	沼田	競争中止	-	463		11
糖蜜記念(G)	取消	イワサマヨンサマ	牡25	150秒	要(神)					
ベガ賞(G)	取消	ラブラブエリカ	牡22	15秒	沼田					
天の川特別(OP)	取消	ユーチャンマキバオ	牡23	90秒	高橋					
	取消	ネックツティーチャー	牡24	0秒	小寺					

必殺技炸裂！！
タマタマクロス逃げ粘り2着

「合宿の成果」：玉井騎手
夏の強化合宿の成果が発揮された。7番人気のタマタマクロスが逃げ粘り2着。「夏の合宿で二つの技を身に付けました。その名もたまいスペシャルとたま単騎逃げです」という玉井騎手。春は地味な活躍であったが、合宿で一皮向けたタマタマクロスに今後も注目だ。

いつもヌマッタ
ヌマッタプリンセス競争中止

「無念という以外言葉がない」：沼田騎手
前回の最下位に続き、今回は2000mで競争中止という結果。やはり調教不足であったようだ。「牝馬の調教ばっか手をかけていたら、肝心のヌマッタプリンセスの調教が出来なかった」というのは沼田騎手。「馬がすねてしまった」という言葉は嘘ではないだろう。2戦連続最下位の結果で気持ちを入れ替える必要があるかもしれない。

東京を飛んだ。神の豪脚ゴッドインパクト！

要悲願のG 制覇！

偉大な神様第2回東京モロモロマラソン(G)が2月17日、東京都心を貸し切って開催され、ゴッドインパクトが見事優勝した。ゴッドインパクトの騎手は神様と称される天上界生まれの要騎手。人馬ともに神と言われるコンビが悲願の初タイトルを手にした。

豪脚レースは大逃げを打ったイワサタイヤオーをゴッドインパクトが追いかける展開。一番人気のタマタマクロスが沈む中、マイペースを守ったゴッドがラスト2kmを切った所で差しきった。タイヤオーを捕らえる姿を目の当たりにした伴(友)騎手は「あの脚はまさに神、あれだけの脚を残されては誰も勝てない。五輪にも行くべきではないか」と語った。

夢の五輪へ東京モロモロマラソンを制覇したことで、国際G の北京五輪へと夢も膨らむゴッドインパクト。タイムが平凡だっただけに要騎手も「今回のタイムでは選ばれても本番では戦えない。もっと力をつけて次のロンドンを目指す」と控えめに語る。

日本から世界へ神様の次の目標は「もちろん国際G です。世界選手権が、五輪か、いずれにしてもまずは代表に選ばれるだけの实力をつけなきゃですね。」と要騎手が語るように、既に世界へと目を向けている。モロモロから初の日本代表に選ばれるために、神様は今日もひた走る。



快調に走るゴッドインパクト (撮影 A.S.)

アラカルト 東京第11R 第2回東京モロモロマラソン(G) ロード 42.195km 4 頭

ゴッドインパクト
騎手 要(神)
父 デンデシエンロン
母 ミセスパボ
牡27
生産者 天上界牧場
戦績 5000m15'49"
東京モロモロマラソン(G)
モナコ記念(G)
調布大賞典(G)

着順	馬名	性齢	騎手	タイム	着差	オッズ	人気
1	ゴッドインパクト	牡27	要(神)	3:07'49"		9.3	3
2	イワサタイヤオー	牡27	岩佐	3:08'53"	1	7.4	2
3	タマタマクロス	牡23	玉井	3:11'33"	2 1/2	1.4	1
4	イワサマヨンサマ	牡25	岩田	3:21'39"	大差	89.5	4

タイヤオー大逃げ2着

あと一歩まで粘ったイワサタイヤオー岩佐騎手
「30kmまではいけたと思ったんだが、
良いレースが出来たとは思う。」

タマタマ不発3着

圧倒的一番人気だったタマタマクロス玉井騎手
「ファンの支持に応えられず申し訳
でした。一から出直します。」

TOPICS

マチマチマッチ

名古屋国際マラソン(G)でキューチャンビューティに
圧勝。シドニー五輪選考会の借りを返す走り。
「女王様の称号は私の為にあるわ。キューチャンなんて
目じゃないわ」という河野騎手。牡馬をなぎ倒す走りが
印象的だ。

タクママックス

千葉マリン(G)、東京モロモロ10km(G)を連勝で今期
3 勝目。「ようやく調子が上向いてきた。この勢いで春を乗り
越えたい。」という伴(卓)騎手。昨年は一年を通して不振に
終わっただけに、今年の巻き返しにかかる意気込みは半端
ない。

ユーキキングオー

今年初レースは惜しくも失格に終わった。あまりの
獲得賞金額の低さに牧場が倒産の危機の中、賞金を
上乗せできなかったのが痛い。「うきゃ！うきょ！へきや
きゃきゃー！」もはやインタビューも意味不明である。
ユーキキングオーの復活は果たしてあるのか。